

新型コロナウイルス感染症対策下における子ども虐待防止に資する
助成事業報告書(HP掲載用)

団体名	ヨリドコピンポン
事業名	子どもの居場所での学習支援と親の気持ちをほぐす企画
活動期間	2020年7月1日～2020年12月31日

実施内容	<p>「学習支援」火土の夕方に開催。子どもたちは持ってきた宿題やこちらで用意したプリントを使い勉強をしていた。ボランティアに常駐してもらい、わからないところを聞いて解決したり、クイズなど楽しみながら勉強できるよう心掛けた。自習室として使う子どももいた。食事が必要な子の受け皿にもなれるよう、軽食も用意。コロナ禍なので持ち帰り可能なお弁当の形式にした。</p> <p>「子ども預かり」少し休憩したい、買い物に行きたい、レスパイトなどの目的で要望に個別に対応していた「子ども預かり」を規模を拡大して行った。親の都合など考え子ども食堂開催日と土曜日の実施となった。活動場所は「ヨリドコピンポン」や、近隣の公園など、子どもの希望をかなえるようにした。</p>
成果	<p>毎回2名から6名の子どもたちが学習支援に参加した。親以外の人が勉強を見ることで、子どもたちは遠慮なくわからないことを分からないと言える環境の中、勉強を楽しんでいた。不登校の子や外国籍の子など学校の勉強に遅れがみられる子も来るようになり、居場所となることもできた。勉強をする日課のない子もヨリドコに来て、机に向かう時間を持つことができ、お母さんに喜んでいただけた。食事提供もすることで、子どものおなかを満たすこともできた。</p> <p>ワンオペ育児で困り果てているお母さんたちに数多く出会い、子どもから1時間でも離れることで、また笑顔で子どもご飯を食べたり遊んだりする姿を見ることができた。そういったお母さんたちが集まって話をする中で、お互いの悩みを笑いあったり励ましあったり、新たなつながりも生まれていた。子ども預かりや学習支援のボランティアの学生たちも、さまざまな子どもと出会う中で真剣に子どもの環境を変えたり親への声かけを考えて動いてくれていた。</p>
写真	

リンク	https://www.facebook.com/pingpong26
-----	---